

ウイルスと人共存も

長崎大 山本太郎教授が講演

西日本政懇

2020.10.9 西日本新聞

西日本政経懇話会10月例会が8日、小倉北区のホテルであり、感染症に詳しい長崎大熱帯医学研究所の山本太郎教授（国際保健学）が「Withコロナ社会の見取り図 ウイルスとの共生の視点から」をテーマに講演した。Ⅱ写真。要旨は次の通り。

新型コロナウイルスは発

症前に感染させるため、予防が難しい。約100年前のスペイン風邪は2年間かけて世界を3周し、当時の世界人口の25～30%くらいが感染した。新型コロナウイルスも人口の一定程度が感染し、集団免疫を持つまで流行が続くことが予想される。

ウイルス感染症はウイルスの視点で見ると異なる風景が見えてくる。宿主がいないと自らが生き残れない。一方、私たちの体には膨大な数の常在細菌、常在ウイルスがいて、助けられているこ



景が見えてくる。宿主がいないと自らが生き残れない。一方、私たちの体には膨大な数の常在細菌、常在ウイルスがいて、助けられているこ